

旭座人形芝居（県指定無形民俗文化財）

- 1 開催日時 平成30年11月3日（土：文化の日）
13時30分～
- 2 開催場所 八女市黒木町笠原5005-2
旭座人形芝居会館
- 3 公演内容（演目）けいせいあわのなると「傾城阿波鳴門」巡礼歌の段（黒木小学校人形浄瑠璃
クラブ）
えほんたいこうき じゅうだんめ あまがさき だん「絵本太功記」十段目 尼ヶ崎の段（保存会）
- 4 観覧料 無料
- 5 交通アクセス 九州自動車道 八女ICより約23km、車で1時間
※駐車場あり
- 6 連絡先 八女市教育委員会 文化振興課 文化係
☎0943-23-1982
- 7 概要 「旭座人形芝居」の始まりは明治5年（1872）頃、黒木町笠原わにばち八地区に浄瑠璃の名人が相次いで現れ、祝いの席などで瓢箪ひょうたんや徳利を人形に見立て、浄瑠璃に合わせ操ったのが始まりとされています。
昭和30年に福岡県無形民俗文化財の指定を受け、旭座人形芝居保存会が結成されました。平成11年には人形浄瑠璃のための旭座人形芝居会館が設置され、現在は笠原地区5戸で人形芝居が継承されています。
さらに、八女市立黒木小学校では「人形浄瑠璃クラブ」で伝統を継承し、本公演や笠原まつりで公演を行い迫真の演技は涙をさそいます。



「黒木小学校人形浄瑠璃クラブ」上演の様子



「旭座人形芝居保存会」上演の様子